

未来

マーシャル諸島共和国 カブア・リア

想像してみてください。あなたの国の未来を。50年後あなたの国はどんな風になっているでしょうか。きっと素晴らしい未来を想像すると思います。しかし私の母国マーシャル諸島共和国にそのような未来はありません。50年後マーシャルは海に沈んで住めなくなり

ます。現在、地球上では温暖化が進んでいます。地球温暖化が進むと気温だけでなく水温も上昇するため北極や南極の氷が解け、海水面が上がり、元々海拔の低い島々は沈んでしまいます。私の母国はその一つです。氷が解けて住む場所を失うのはシロクマだけではなくありません。私も故郷を失うのです。

地球温暖化は温室効果ガスによって引き起こされます。温室効果ガスが地上に増えることで本来宇宙空間に放出されるはずの熱が外

に逃げられなくなり、空気が高温に保たれます。そして徐々に地球全体の温度が上がっていきます。現在、その温室効果ガスは世界で年と年間318トンも排出されています。

では、温室効果ガスの国別排出量ランキングを見てみましょう。2011年のJCCCAの調査によるとトップスリーの国は中国、アメリカ、インドの順であります。日本は5位です。様々な開発にはたくさんエネルギーが必要で、現在使用されている主なエネルギー源である石油やガスは使用と同時に多くの温室効果ガスを排出します。それでは、上位の国々に排出を禁止すれば良いかというところとは違ふと思います。人口の多い国が多くのエネルギーが必要なのは当然ですし、今まであまり豊かとは言えなかった国々も豊かになりたいと思うことは当然のことだと思います。

しかし、私の国をはじめ、近い将来海に沈む国々はこのランキングに入ったことがあります。

ません。地球を汚していない国が環境問題の被害を一番に受けるのです。本当に悲しい現実には納得できない思いや訴えたいことはたくさんあります。ただ地球を汚すことに対して怒り狂うことは意味がないと思います。私自身、中国で作られた服を着たり、アメリカで作られた車に乗ったり、日本製のパソコンを使ったりと、地球を汚して開発されたものに支えられて生活しているからです。便利な生活と引きかえに地球を汚すことを助けているとも言えるからです。だから、今まで無茶苦茶なことをして地球を汚した国々のこともうらむことはしません。大切なのは過去ではなく、未来です。未来のために過去の間違いを振りかえり、今の間違いを正し、これ以上私のように故郷を失う悲しみを味わう人を増やさない未来を作っていくべきです。ですので、すでに発展した大きな国だけが得をする環境対策だけでなく、貧しい国もこれから発展していきけるような、世界全体をレベルアップ

アさせる政策をするべきです。技術の発展は素晴らしいことですがそれと引きかえに失うもののことも考えるべきです。どのような発展が人類にとって最も幸せなのか、何を選んで何を捨てるべきなのか、バランスを考えるべきです。

今、こうしている間に地球温暖化は進んでいます。今すぐに止めることは不可能ですが、どうにかして少しでも理想の未来に近づくことを願っています。